

## 735 中央大学学友会諸会

〔『法学新報』第32卷12(372)号 大正11年12月8日〕

## ○中央大学学友会諸会

□法学会 十月二十二日午後一時より開会したるか会長法学博士林頼三郎氏は開会の辞に次て「新刑事訴訟法に就て」と題し<sup>(改カ)</sup>政正法の要点を最も明確に説明せられ法学博士高窪喜八郎氏は「商法二三の問題に就て」實際的の見地より有益なる講演を試みられ又法学博士花井卓藏氏は「英国司法官の任命」に就て我国将来の立法に対し大に参考に資せらるべき意見を述べられたり此三氏の講演速記は追て本誌上に掲載せらるべし尚ほ当日は天野徳也氏の「悪報と法的安全」及泉二博士の刑事法に関する講演あるべき筈なりしも時間の都合上他日に延期せられたるは遺憾なりし

□英語学会 十一月十二日午後一時より挙行せらる廣井辰太郎教授の開会の辞に始まり渡邊、松崎、吹井諸氏「スプーチ」ありて Whyman博士の Japan and the World's progress

Drew Pearson 氏の America's New Interest in International Affairs と題する「スピーイチ」に移り次てポーランド公使 Stanislas Patek 氏の「デイスコース」ありて瑞西公使 Charles L. E. Lardy 氏は On the Relation between Japan and Switzerland に付て講演せられ右了て宮岡会長の挨拶あり盛会裏に閉会

□辞達学会 十一月十九日午後一時より鳥越秀三氏を司会者として全国各大学専門学校雄弁大会左記次第に依り開催したるか当日各校学生諸氏始め聴衆の来り会する者頗る多くさすがの大講堂も忽ち満員にて場外に溢るるの盛況なりし

□昼間の部

- 一 開会の辞 委員 前田 太郎君
- 一 不断の創造へ 宗教大学 佐々木龍雄君
- 一 林業より観たる朝鮮 帝大農実 飯島 忠康君
- 一 文明に疲れて 水産講習所 田中泉太郎君
- 一 生命の歴史 日本大学 森田 大圭君
- 一 ツラニアン同盟 早第二高等 西村重次郎君
- 一 ヴンパイヤの力 本 学 海野 正造君
- 一 台風の中心はバルカンより極東へ 拓殖大学 植村 安君
- 一 男女共学論 外国語学 種村保三郎君
- 一 混沌裏の光明 國學院大学 中山 政高君
- 一 未 定 日本歯科 井上 晃君
- 一 葉一つ花一輪の尊厳 曹洞宗大学 西山 金瑛君
- 一 若き法律学徒の立場より 大阪関西大学 木村檜太郎君

- 一 平和に対する一考察 明治大学 益山 俊一君
- 一 未 定 豊山大学 岡田 蓼蓼君
- 一 財産相続の可否 京都立命館 川那邊源太郎君
- 一 挨拶 本 学 中島忠三郎君
- 一 挨拶 委員 日高 雪君

□夜の部

- 一 挨拶 委員 山崎 止君
- 一 人口問題の一解決は 立教大学 空閑 寛敏君
- 一 一人の力 高等工業 高崎 高松君
- 一 自然の齎せる文化 千葉高等園芸 川村和喜治君
- 一 自我に徹せよ 和歌山高野山 川口 覺心君
- 一 流汗相愛主義 高等師範 大高 常彦君
- 一 何を為す可きか 農業大学 石黒 大人君
- 一 我が国労働問題の一考察 本 学 富田 喜作君
- 一 未 定 早稲田大学 石塚 一君
- 一 静観熱叫 早、第一高等 湯本 新吉君
- 一 女性と芸術 東洋大学 森川 金雄君
- 一 未 定 慶應義塾 南瀬 徳平君
- 一 社会改造と消費組合運動 専修大 野坂賢二郎君
- 一 未 定 大阪関西大学 井出源七郎君
- 一 吾が直感する三大問題 日蓮宗 大野 秀明君
- 一 労働者の教育に就て 法政大学 飯田 北里君
- 一 二大暗流の調和者 本 学 松浦由太郎君
- 一 未 定 青山学院 金塚 西江君

一 閉会の辞

委員 依田 武夫君

一 挨拶

教授 高窪喜八郎氏

一 講演 革命の批判

教授 廣井辰太郎氏

一 挨拶

本会長 花井 卓蔵氏  
法学博士

□ 政治学会 十一月二十六日午後一時より開会先づ会長法学

博士稻田周之助氏は開会の辞に次て議会对する感想に就て最も有益なる講演あり了て水野氏は支那政局の過去及将来に就て、外務省欧米局第二課長堀内謙介氏は国際政治の趨向に就て、法学博士米田實氏は最近外交問題に就て又高木信威氏は憲政の常道に就て夫々其学植<sup>(植カ)</sup>を傾倒して講演せられたり